

知的障がい生徒自立支援コース・共生推進教室の 取組みの充実に向けて

～10年間の成果をふまえて～

(概要版)

平成29年3月
大阪府教育庁

I 取組みの概要

○経緯

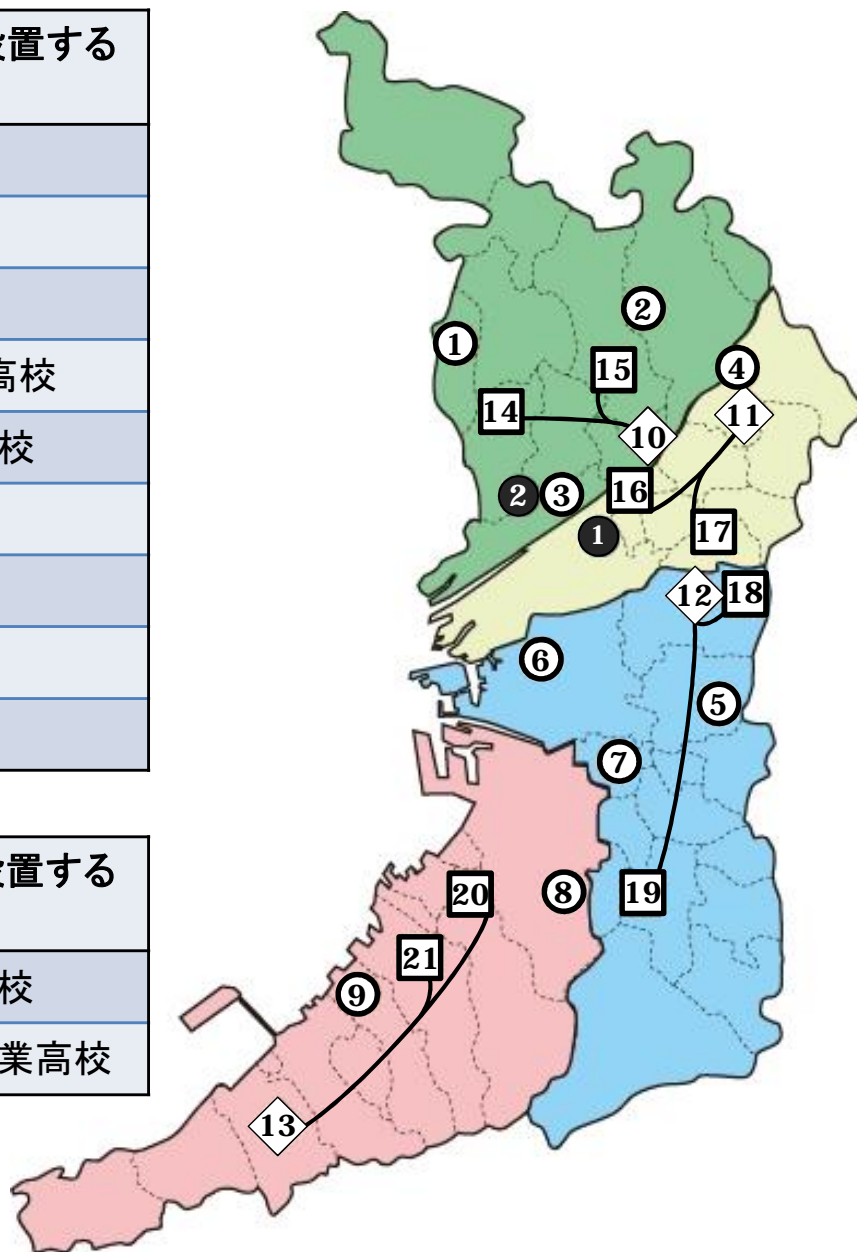
平成12年	大阪府学校教育審議会 諮問・提言
平成13年 ～平成17年	調査研究の実施 府立高校 4校 (平成15年度より5校) 参考：大阪市立高校 1校
平成17年	大阪府学校教育審議会 答申
平成18年	自立支援コース 9校設置 参考：大阪市立高校 2校設置 共生推進教室 1校設置 (たまがわ高等支援学校 開校)
平成21年	自立支援コース・共生推進教室 募集人員 全校3人
平成22年	共生推進教室 3校設置
平成25年	共生推進教室 1校設置 (とりかい高等支援学校 開校)
平成26年	共生推進教室 1校設置 (すながわ高等支援学校 開校)
平成27年	共生推進教室 2校設置 (むらの高等支援学校 開校)

○自立支援コース・共生推進教室の設置状況

自立支援コースを設置する府立高校
① 府立園芸高校
② 府立阿武野高校
③ 府立柴島高校
④ 府立枚方なぎさ高校
⑤ 府立八尾翠翔高校
⑥ 府立西成高校
⑦ 府立松原高校
⑧ 府立堺東高校
⑨ 府立貝塚高校

【参考】

自立支援コースを設置する大阪市立高校
① 大阪市立桜宮高校
② 大阪市立東淀工業高校



職業学科を設置する高等支援学校	共生推進教室を設置する府立高校
◇10 府立とりかい高等支援学校	□14 府立千里青雲高校
◇11 府立むらの高等支援学校	□15 府立北摂つばさ高校
◇12 府立たまがわ高等支援学校	□16 府立芦間高校
◇13 府立すながわ高等支援学校	□17 府立緑風冠高校
	□18 府立枚岡樟風高校
	□19 府立金剛高校
	□20 府立信太高校
	□21 府立久米田高校

平成28年4月現在の 設置校及び在籍生徒数

- 自立支援コース 9校 (81人)
*大阪市立 2校 (18人)
- 共生推進教室 8校 (64人)
(本校となる高等支援学校 4校)

○自立支援コース・共生推進教室の特徴

	自立支援コース	共生推進教室
学籍	高等学校	知的障がい高等支援学校
教育課程	高等学校	特別支援学校
授業の場所	高等学校(週5日)	高等学校(週4日) 高等支援学校(週1日)
制服・学校行事等	高等学校	高等学校

○教員配置等

	自立支援コース	共生推進教室
教員配置	1校あたり4人	1校あたり6人
非常勤講師時間数	1校あたり12時間	なし
学習サポーター	生徒1人あたり48回	生徒1人あたり24回

人材バンクを活用し、主に大学生等がボランティアとして学習支援やコミュニケーションの仲立ち等を担う。各校の卒業生が学習サポーターの担い手となるケースもある。

○教育課程

- 知的障がいのある生徒一人ひとりのニーズをふまえ、ともに学ぶ教育課程の編成
- 選択科目の中に自立をサポートする科目を設定

○授業形態・指導法の工夫

- 生徒・保護者のニーズをふまえ、生徒の状況に応じて以下の授業形態を組み合わせる

クラスで受ける授業（付添あり／付添なし）

小集団授業

個別授業

- 生徒間の意見交換や、授業での発表機会を積極的に設ける

○教材・教具、教室環境の工夫

- 教材・教具の工夫
 - ・教科書の内容を補完するイラストの活用や、択一式の解答法
- 教室環境の工夫
 - ・すべての授業における板書位置の統一や掲示物の位置の統一
 - ・生徒の状況に応じた座席の配慮

○共生推進教室における本校との連携

- 職業に関する実践的な学習を通じて、職業観・勤労観を涵養

障がいのある生徒への指導・支援が、すべての生徒にとって「わかる」授業の実践につながる

○クラス活動・学校行事

ともに活動する機会を通じて、生徒の相互理解を促進

○部活動

自立支援コース・共生推進教室ともに加入率70%以上

(平成28年度実績値)

* 共生推進教室の生徒も設置校の部活動に参加

○地域との連携

地域の小・中学校への出前授業や、交流会等に参加

○生徒の成長

障がいのある生徒とない生徒の関わりが「一人ひとりの違いを認め合い、助け合い、支え合う姿勢」を育てている

- ・本人：自分のことを周りに伝えられるようになった
- ・同級生：自分自身も誰かに支えられていることに気づいた

【参考】学校生活についてのアンケート

「ともに学んだことをどのように感じているか（自由記述）」
(本人及び保護者並びに同級生対象)

【本人回答】

- ・思った通り、たくさんの行事が楽しかった
- ・3年間は本当に楽しくて、仲間もいっぱいできた。3年間は私の宝物です。

【同級生回答】

- ・みんなで一緒に乗り越えたり、わかちあったりすることで、感じたことがたくさんある。
- ・一緒に授業で頑張っているのをみて、自分も頑張ろうと思えた
- ・あまり関わる機会がなかった

【自立支援コース・共生推進教室保護者回答】

- ・連絡帳の何気ない先生方の応援コメントも、本人にとって心強かったと思う
- ・設置校の教育方針や活動、生徒との向き合い方等、一人でも多くの人に知ってほしい

大阪府が進めてきた「ともに学び、ともに育つ」教育による生徒の成長が、インクルーシブ教育システムがめざす姿となっている

○進路指導

- ・障がいのある生徒の卒業後の自立に向けた「てびき」等を作成し、本人、保護者と共有
- ・3年間の進路指導において、計画的に職場体験実習を取り入れ、「働く」経験を積む

○進路実績

【就職】

過去3年間の就職率の推移

卒業年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
自立支援コース		55.6%	48.1%	55.6%
共生推進教室		100%	91.9%	80.0%
知的障がい 支援学校	大阪府	26.3%	28.3%	25.6%
	全国	30.2%	31.1%	31.5%

【進学等】

- ・短期大学、専門学校
- ・職業訓練の受講

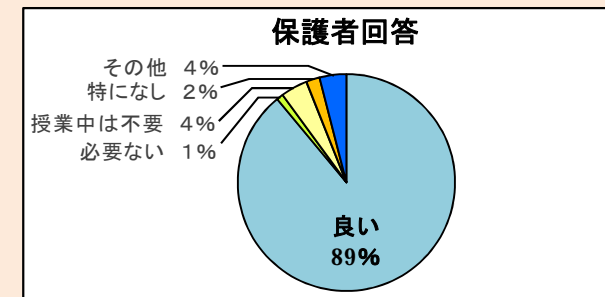
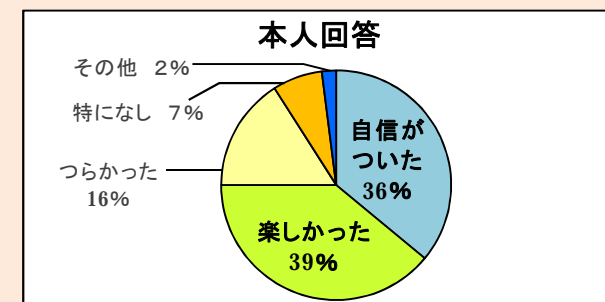
【福祉サービスの利用】

- ・就労継続支援（A型／B型）
- ・就労移行支援
- ・自立訓練（生活訓練）

【参考】学校生活についてのアンケート

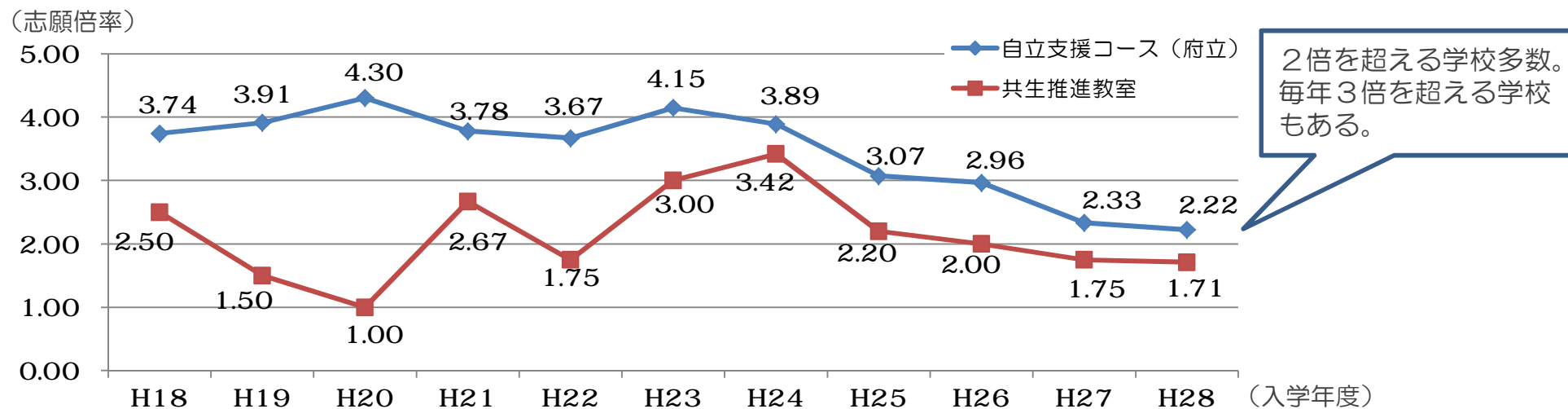
「職場実習の取り組みをどのように感じているか」

（本人及び保護者対象）



- ・卒業後の社会的自立をめざした進路指導により、高い就職率を維持
- ・在学時から地域の支援機関と連携を図り、卒業後の職場定着を実現

○自立支援コース・共生推進教室の平均志願倍率の推移



【参考】自立支援コース入学者選抜の志願倍率

網掛け：3倍超

旧学区	学校名/入学年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H18~H28 平均
1学区	園芸高校	3.67	2.33	3.33	4.33	2.33	3.33	4.33	3.67	4.00	1.33	3.33	3.27
	阿武野高校	4.33	3.33	4.33	7.33	3.67	2.33	3.33	1.33	2.67	1.67	1.67	3.27
	柴島高校	3.67	5.33	5.00	4.67	4.67	7.33	4.33	1.67	4.33	3.67	2.33	4.27
2学区	枚方なぎさ高校	6.00	4.50	7.00	3.67	3.67	2.67	3.00	3.67	5.33	4.33	1.00	4.08
3学区	八尾翠翔高校	1.00	3.50	4.00	1.67	2.00	3.00	1.00	2.33	1.33	1.67	1.33	2.08
	西成高校	1.33	1.33	1.33	2.33	2.67	2.00	2.67	2.67	1.33	1.67	2.00	1.94
	松原高校	2.67	3.00	3.00	2.33	2.33	4.33	2.67	2.33	1.33	1.67	3.00	2.61
4学区	堺東高校	5.00	8.00	5.50	4.67	5.67	5.00	7.00	3.00	3.00	2.67	1.67	4.65
	貝塚高校	7.50	6.00	7.50	3.00	6.00	7.33	6.67	7.00	3.33	3.00	3.67	5.55

(注) H21より全校募集人員3人

III 取組みの充実にもつて

互いを認め合い、
支え合う姿勢の育成

生徒が自分自身の成長を実感

卒業後の自立にもつて
生徒・保護者の期待

卒業後の社会的自立を
見すえた進路指導

すべての生徒にとって
「わかる」授業の実践

ユニバーサルデザイン
を意識した授業づくり

障がいのある生徒と周りの生徒が
ともに学校生活を送ることによる成長

高い就職率

本校との連携による
職業観・勤労観の涵養

【知的障がいのある生徒】

障がいのない生徒との学びや交友
を通じて自立心や社会性等、集団
の中で生活する力をつけた

【周りの生徒】

知的障がいのある生徒と学ぶこと
を自然にとらえ、お互いを尊重し
支え合う姿勢を育んだ

中学生・保護者の
高い関心

自立・共生実践報告会
参加者600人超

高い志願倍率

3倍を超える学校あり

卒業後の社会的自立に向けた
指導・支援への期待

高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を一層推進

自立支援コースの充実方策

各校の志願状況や地域バランス、教育課程等を
ふまえ、自立支援コースの募集人員増について
具体的に検討を進める

共生推進教室の充実方策

大阪府全域における多様な学びの場の充実の
ために、大阪市域の支援学校を本校とする
共生推進教室の新たな設置を検討する